

給食放送 【11/2 (木)】

日根野中学校のみなさんこんにちは！

今から給食時間の放送を始めます。

おそらく給食を食べている最中だと思うので、食べながらでいいので聞いてください。

まずは、今日の給食の献立です。

今日の給食は、牛乳・ごはん・ふりかけ・高野豆腐の煮物・白身魚フライ・きゅうりとツナの生姜和えです。

みなさんよくかんで食べましょう。

それでは、今日の放送では、「いただきますとごちそうさま」についてお話したいと思います。

最近涼しくなりごはんもよりおいしく、食べやすい季節になってきましたが、みなさんはいつも

「いただきます」「ごちそうさま」としっかり声に出していますか？家族や先生に言いましょうと言われているから言っていたり、めんどくさいとか感じていたりしませんか？

それぞれの言葉にはみなさんに知っておいてほしい思いが込められています。

まずは、「いただきます」についてです。いただきますは主に2つのことに向けて感謝を伝えるための言葉です。

まず1つ目は食材への感謝です。食べ物は、私たちの食料となる前は、それぞれ命を持った動物や植物でした。私たちは、それらの命をいただいて、生きています。食べ物を粗末にすることは、いただいた命を粗末にすることになりますので、受け継いだ命を大切にいただきます。

また2つ目は、食事に関わってくれた方々への感謝です。みなさんが食べている給食には、作ってくれる調理員さんや献立を考えてくれる栄養士さんだけでなく、配膳室でみなさんが給食を教室へ運びやすく用意してくれている配膳員さんや給食センターから学校まで安全に給食を運んでくれている配送員さん、そして給食で使う食材を作ってくれている方々など、多くの方が関わっています。その方々へのありがたい気持ちを込めた言葉が「いただきます」です。

続きまして「ごちそうさま」についてです。実は「ごちそうさま」も感謝を伝えるための言葉です。ごちそうさまの「馳走(ちそう)」という言葉には“走り回る”という意味があります。昔は食材を保存しておくための冷蔵庫や、食材が何でもそろうスーパーはありませんでした。そのため、大事なお客様をもてなすために馬に乗るなどして遠いところまで走り回って食材を調達しないといけませんでした。そんな人達への感謝を表す言葉として用いられるようになったそうです。つまり、食事そのものに対する感謝だけではなく、そこまでして用意してくれた人達に対して感謝の気持ちを表した言葉というのが「ごちそうさま」です。

みなさんそれぞれの意味を知って、今後ぜひ感謝の気持ちを込めて言うようにして貰えたらいいなと思います。

以上「いただきますとごちそうさま」についてのお話でした。

それでは、今日の放送はここまでです！

給食時間の放送をしていたのは、中学校給食センター栄養教諭の でした。

ありがとうございました。